

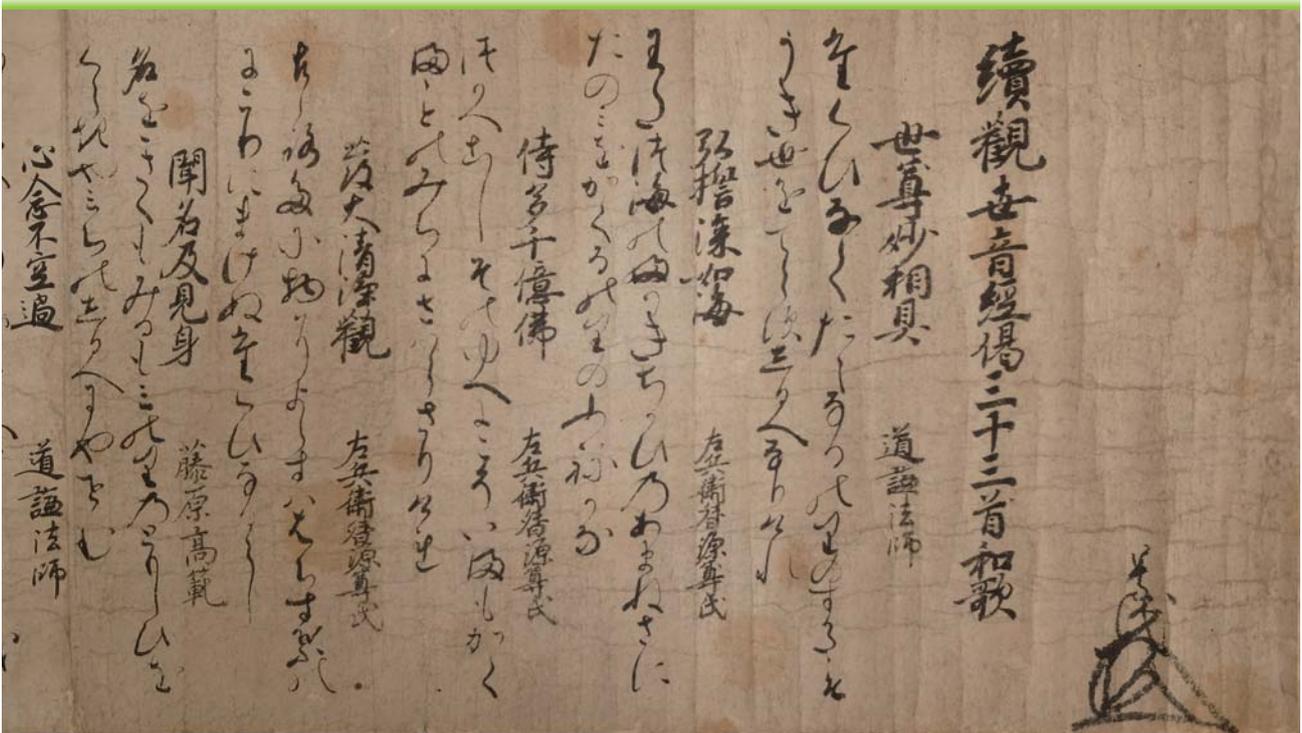


近世文化展示室
菅茶山の世界

福山城築城400年記念事業
重要文化財

「観世音法楽和歌」を公開!

令和4年4月1日|金| ▶ 5月29日|日|



重要文化財「紙本墨書観世音法楽和歌」(部分) 尾道市 浄土寺蔵

建武政権に反旗を翻した足利尊氏は、鎌倉から京都へと攻め上り、北畠親房らに敗れて九州へと逃れました。九州で体勢を整えた尊氏は、京へと向かう途上、尾道へ立ち寄り、浄土寺本尊の十一面観音菩薩に和歌三十三首を奉納して、戦勝を祈願しました。時に建武3年(1336)5月5日のことです。詠人は、尊氏の外、弟の直義や側近の源頼貞ら6名で、右下には、尊氏の花押もあります。

法楽とは、神仏に読経や修法を奉納し、楽しませることです。和歌を奉納したものが法楽和歌で、鎌倉から室町時代にかけて盛んに行われました。

その後、幕府を開いた尊氏は、浄土寺を始めとして、尊氏に協力した尾道の寺院や漁師たちへの保護を行いました。

この、歴史を紐解く貴重な資料を是非御覧ください。

近世文化展示室
守屋壽コレクション

「蘭学と地図」

守屋壽コレクションの展示コーナーでは、「蘭学と地図」をテーマに紹介します。

「蘭学」は、江戸時代にオランダ語を通じて学ばれた西洋の学問ですが、蘭学の書物で解剖書「ターヘルアナトミア」を翻訳した「解体新書」や、杉田玄白の回想録「蘭学事始」が有名です。現代でも書籍の題名などに「●●事始」など、これらの書名にちなんだものを目にするがあります。

今回、蘭学の書物を代表するこの二つの資料を展示します。

また、蘭学が盛んになると、地図にもその影響が現れます。蘭学者たちが、西洋の世界地図を翻訳して刊行するようになったのです。特に司馬江漢が、寛政4年(1792)に出版した「地球図」は、日本初の銅版で印刷された世界地図としても知られています。

この「地球図」には、西ヨーロッパに生息する海獣イッカクや、西洋の捕鯨の様子が挿絵に描かれていて、この図を見た人々に新鮮な印象を与えたことと思われます。この挿絵も司馬江漢が描きました。

ただし、民間人であった彼が翻訳した世界地図は、当時から70年ほど前の古い地図でした。そのため、当時最新の地図に比べ、陸地の形が不正確でした。それに対して「地球図」の約10年後に幕府が当時最先端の西洋の地図を翻訳したのが「新訂万国全図」です。

展示室でこの二つの世界地図を見比べてみてはいかがでしょうか。



「解体新書」杉田玄白、前野良沢ほか 安永3年(1774)



銅版彩色「地球図」司馬江漢 寛政4年(1792)

「地球図」の挿図(イッカクの絵)

主催／ふくやま草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
休館日／月曜日(5月2日は開館)

会場／広島県立歴史博物館 近世文化展示室
入館料／一般290円(220円),大学生210円(160円)
高校生まで無料 ※()は20名以上の団体料金

頼山陽史跡資料館

特集展「新収蔵品展」

令和4年4月5日(火)～5月22日(日)

頼山陽史跡資料館では、開館以来、多くの方々からの寄贈や寄託により、書画や古文書などの貴重な資料を取蔵してまいりました。その資料は、展覧会で順次お披露目してきましたが、展示テーマとの関係で、これまで紹介できなかった資料も数多くあります。

本展では、頼春水・山陽・津庵・支峰・三樹三郎や、頼家と交流のあった文人の書画など、近年の寄贈・寄託品の中から、初公開資料を含む優品の数々を紹介します。

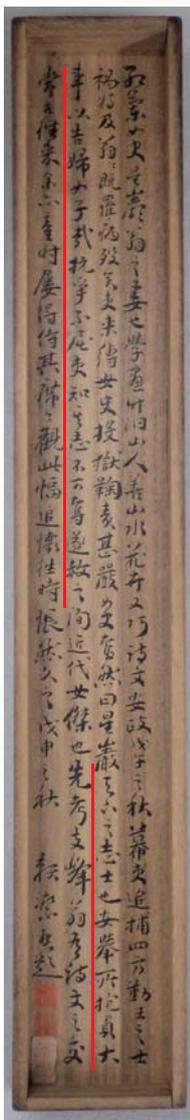
左の資料は、梁川星巖の妻紅蘭(1804～79)が慶応4年(1868)4月に描いた絵に、頼山陽の子支峰(1823～89)が4月25日に賛を付したもので、今年度、当館に寄贈されました。

梁川星巖は、大垣藩の生まれで、菅茶山や頼杏坪・山陽など多くの文人たちと交流し、幕末の志士にも思想的に大きな影響を与えたとされる人物です。その星巖と17歳の時に結婚した紅蘭は、文政10～11年(1827～28)頃に文人画家の中林竹洞から画法を学んだとされ、幕末には京都に居を構えて、支峰ともしばしば詩文を交わしました。

支峰の賛は、宝応元年(762)5月に中国・唐の成都(四川省)で杜甫が嚴武の訪問を受けた時に詠んだ詩を、「蘇江老盟臺」(「老盟臺」は尊称)のために書き写して賛としたもので、家の側に竹が描かれる点などは、詩の内容とも合致しています。

また、支峰の門人で、後に養子となった頼潔(庫山)が明治41年(1908)秋に記した箱書(左の写真)があり、それには支峰と紅蘭の交遊の場に幼少期からしばしば同席した潔が、この掛け軸を見て往時を懐かしんで書いたとあります。

この資料を始め、初公開資料を含む優品の数々を是非御覧ください。



箱書



「支峰先生賛紅蘭女史画山水立幅」

「…先考支峰翁有詩文之交、常相往来、余亦童時屢得侍其席、今觀此幅追懷往時…」

- 会場 / 頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5-15) TEL.082-298-5051
- 時間 / 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日
- 入館料 / 一般200円(160円), 大学生, 150円(120円)
高校生以下・65歳以上無料※()は団体20名以上の料金
- 関連行事 / 展示解説会
日時: 4月9日(土)・23日(土), 5月7日(土) 13:30～
解説: 当館職員



※新型コロナウイルス感染症の状況により、予定が変更・中止になる場合があります。詳しくは、当館ホームページ等で御確認ください。

RAI SAN YOU

博物館 掲示板

広島県立海田高等学校の生徒さんから中世衣装が寄贈されました!

海田高校の生徒が製作した、中世衣装計4着「直垂、水干・指貫、袷、陣羽織(全て子ども用)」が、館に寄贈されました。

2月22日(火)から、当館エントランスにおいて、展示・紹介しています。是非、御覧ください!



中世衣装を製作した生徒の皆さんと



(左から) 袷,直垂



(左から) 指貫・水干,陣羽織

令和4年度の展示会のお知らせ

歴史博物館

近世文化展示室 『テーマ 福山城築城400年記念事業』

	4/1(金)~5/29(日)	6/3(金)~7/31(日)	8/5(金)~10/2(日)	10/7(金)~12/4(日)	12/9(金)~1/31(火)
菅茶山の世界	菅茶山と白河藩	菅茶山と廉塾	福山藩儒 菅茶山	菅茶山と交流した藩儒たち	茶山が収集したモノ
守屋壽コレクション	蘭学と地図	近代備後地域の商業資料 ~「備後の魁」と引き札~	福山城と福山藩関連資料	城絵図と藩校	江戸幕府と日本地図

常設展示室(ミニ展示) 『テーマ 福山城築城400年記念事業』

	3/25(金)~5/29(日)	5/31(火)~8/4(木)	8/5(金)~10/6(木)	10/7(金)~12/8(木)	12/9(金)~1/31(火)
中世文書を読む(13) 毛利氏の仮名書出	備後絣 -江戸時代, 備後が生んだ特産品-	水野勝成時代の中国産磁器 -神辺城城中心-	復刻版で見る浮世絵 -近世文化の華-	神辺の首長墓 亀山第1号古墳	

※展示会のスケジュールは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更・中止になる場合があります。詳しくは、当館ホームページ等で御確認ください。

休館情報

施設維持管理のため、令和4年6月14日(火)~17日(金)は臨時休館します。令和4年度は、改修工事に伴い企画展示室は閉室します。また、令和5年2月から3月の期間、改修工事に伴い臨時休館を予定しています。詳しくは、当館ホームページ等で御確認ください。

頼山陽史跡資料館

特集展	特集展	企画展	特集展	企画展	頼山陽	特別展	特別展
新収蔵品展	頼津庵 ~大字書の魅力~	現代刀の 愉しみ	頼家ゆかり の絵図	青年頼山陽	頼山陽 書道展	今に息づく南画 の精髓~南画精 華展特別編~	ひな人形と 春の書画展
会期 4/5~5/22	5/26~7/10	7/16~9/4	9/8~10/16	10/20~12/11	12/17~1/9	1/14~2/26	3/2~3/31

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第130号

編集・発行

令和4年3月15日



ふくやま 草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1
TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514
e-mailアドレス rnhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/
ツイッター https://twitter.com/hiroshima_prhk



▲ホームページ



▲ツイッター